

あ と が き

令和3年、4年度の2年間かけて行われた、阿波学会小松島市総合学術調査の成果報告（紀要第64号）をお届けします。

前号から編集委員長を拝命し、編集副委員長、編集委員、事務局をはじめ関係の皆様のご協力のもと、予定通り無事に紀要を刊行することができました。

紀要64号は通常原稿12本、特別寄稿5本の計17本の研究論文を掲載しております。

小松島市は、徳島県東部中央、紀伊水道沿岸に位置し、勝浦川や那賀川が流れ市域の7割を平地が占め、豊かな自然と歴史文化環境にめぐまれた地域であり、小松島湾に臨む古くからの港町であり、そうした特色が本紀要に収められた各論文にも見ることができます。

また、巻末CDでは、本文中に掲載できなかった資料やカラー写真、表などのデジタルデータを収めております。

本紀要に掲載された情報は、この2年間の調査に基づくもので、令和2年にはいつから新型コロナウイルス感染症の予防自粛等が断続的に行われ、今期の調査においても、対面での調査や調査期間に制限があるなかで各調査班とそのメンバーが現地に赴いて精力的に調査を行った成果であり、この地域の特徴と経年的な変化を知る手がかりになるものと確信しております。今後とも県内各地での調査研究と紀要での成果報告を通して学術面からの地域貢献を継続することが阿波学会の使命と考えております。

末筆になりましたが、紀要64号作成にあたり、多大な協力、ご支援をいただきました小松島市および小松島市民の皆様、また関係各位に編集委員一同を代表して心より感謝申し上げます。

（阿波学会紀要編集委員長 中野 真弘）

阿波学会紀要第64号『小松島市総合学術調査報告』編集委員会

委員長 中野 真弘

副委員長 西山 賢一 石尾 和仁

委員 茨木 靖 磯本 宏紀 岡山真知子 喜多 順三 仙波 光明

立岡 裕士 萩原 八郎 松永 友和 萬宮千鶴子 渡辺公次郎